

「アメリカ」 切れたアキレス腱が完全にいやされた

ネリヤ・カラバラ (医師、ニュージャーザー)



今年3月28日、道で倒れた瞬間、右足首が折れてしまいました。我慢できないほど痛くて、歩くことはもちろん、しばらく立っていることさえできませんでした。折れた部位が青黒く変わり、その後腫れ上がりました。医師の私は、アキレス腱が切れたことがわかりました。でも、医学に頼るよりは神様にゆだねるべきだと思いました。その日の夕方、私は友だちに助けられてピタリ・フィッシュバーク博士(臨床栄養学・代替医学)が導く聖書セミナーに参加しました。セミナーの後、イ・ジェロク牧師が祈られたハンカチの祈り(使徒の働き19:11-12)をフィッシュバーク博士から受けました。するとすぐに痛みが消えました。その夜、痛んでいた部位は、火が燃えるようにいとか、電流が流れるように震えました。翌朝起きたらすべての症状が消えて、私はハイヒールを履いて教会に行けました。超自然的な神の介入と力でいやされたのだと確信できました。イ・ジェロク牧師の著書『天国』を読んだ後は、神様と主への心がさらに熱くなりました。イ・ジェロク牧師に感謝します。すべての栄光を神様にお帰します。

私はとても感動しました。学会初日の夜はイ・ジェロク博士の著書『私の人生、私の信仰』と『いやしの主』を読んで、もう一度感動しました。博士を知ったことは私にとっては大きい祝福です。ベルギーとヨーロッパへの神の愛を伝えるために、WCDNと博士のミニストリーに積極的に協力したいと思います。

「ベルギー」 神の力の事例報告WCDN

ヒューゴ・ヴァン・リンピュトン牧師 (エンバシー・オブ・ゴッド教会)



21年前、私は末期がんと死の宣告を受けました。神様にいやされようと、神癒の働きをしている団体を探しましたが、なかなか見つかりませんでした。けれど挫折しないで私は神様にすがり、ついに信仰でいやされました。その後、全知全能の神様を本当に信じたら、誰でもいやされるという考えに同調した数人の医師とともに、2005年、ヒーリングスクールを創設しました。2008年にノルウェーで開催された第5回国際キリスト教医学学会に参加しました。学会を主催したWCDN(世界キリスト教医学ネットワーク、理事長イ・ジェロク牧師)は神の力の事例を挙げて、確かに生きておられる神様を証していました。あれほど探していた神癒の働きをしている団体に出会い、神の力の事例を開く、

私はとても感動しました。学会初日の夜はイ・ジェロク博士の著書『私の人生、私の信仰』と『いやしの主』を読んで、もう一度感動しました。博士を知ったことは私にとっては大きい祝福です。ベルギーとヨーロッパへの神の愛を伝えるために、WCDNと博士のミニストリーに積極的に協力したいと思います。

「コスタリカ」 神の恩寵で満たされたイエス・キリストの大使

フェルナンド・ポルボン駐韓コスタリカ大使



24年前、私は健康だけでなく、経済力、家族の問題ですべての希望を失っていました。主治医は、私が脳膜炎にかかって、医学では治療不可能だと言いました。薬に頼って生きていたので、私の業務能力と性格は日増しに悪くなっていきました。ところが、友だちの紹介で初めて教会に行っただけで、友だちの紹介で初めて教会に行っただけで、「神様にはすべての問題が解決できる」という言葉を聞きました。私が酒、たばこをやめて神様に頼ると、神様は脳膜炎をいやしてくださりました。

私は、多くの魂が主に立ち返っている韓国で信実なキリスト教の福音を伝えたいと思っていました。願ったとおり、聖霊と神の権威が満ちているこの教会で信仰生活をするようになりました。イ・ジェロク牧師のメッセージを聞いて、信仰について多くを学んでいます。今まで私は大使を務めながら、同時に牧師として、行く国でどこでも福音を伝えてきました。これからは主が遣わされる所に行って、私が見て学んだ多くのことを伝える、イエス・キリストの大使になるでしょう。

私は、多くの魂が主に立ち返っている韓国で信実なキリスト教の福音を伝えたいと思っていました。願ったとおり、聖霊と神の権威が満ちているこの教会で信仰生活をするようになりました。イ・ジェロク牧師のメッセージを聞いて、信仰について多くを学んでいます。今まで私は大使を務めながら、同時に牧師として、行く国でどこでも福音を伝えてきました。これからは主が遣わされる所に行って、私が見て学んだ多くのことを伝える、イエス・キリストの大使になるでしょう。

* どのように主に会われましたか?

* マンミンはどうして知りましたか?

* 主の大使として、今後の計画はいかがですか?

Header banner for Manmin News with contact info and a world map background. Text includes: 編集発行: 万民中央教会, 発行人: イ・ジェロク, 編集者: ビン・ケンソン, 〒152-848 韓国ソウル市九老区九老3洞3番地, 電話: 82-2-818-7042, Fax: 82-2-818-7048, www.manmin.org. Main title: 万民中央ニュース. Subtitle: 民族福音化と世界宣教の使命を持つ万民中央教会. 第73号 2009. 5. 24.

「イ・ボンニム祈禱院長招へい2009年コンゴ連合聖会」終わる アフリカに伝えられた新たな希望の光



聖潔の福音と炎のような聖霊のみわざが、貧困、病気、内戦で苦しむコンゴ民主共和国の国民に新たな希望を抱かせた。万民中央教会付設のマンミン祈禱院イ・ボンニム院長を招いて「2009年コンゴ連合聖会」が4月25、26日、首都キンシャサにある殉教者記念スタジアムで開かれた。初日、イ・ボンニム院長はイ・ジェロク牧師夫人として、牧師が36年間、教え切れない神の力のハンカチ(使徒の働き19:11-12)で講壇から祈った。すると聖書に記されている奇跡が再現されたように、見えなかった

わけて、神の子どもとされる特権を受ける幸いな人生になると強調した。二日目は「いやしの主(出エジプト15:26)」というメッセージで神様と自分の間を仕切る罪の壁を崩せば、どんな病気もいやされて、みことばの祈りで多く、病人ひとりひとりに按手の祈りができ夫人として、牧師が36年間、教え切れない神の力のハンカチ(使徒の働き19:11-12)で講壇から祈った。すると聖書に記されている奇跡が再現されたように、見えなかった

人が見えるように、聞こえなかった人が聞こえ、話せなかった人が話せるようになり、歩けなかった人が歩いた。聖霊の働きで各種のがん、マラリア、てんかん、エイズなど数多くの病気がいやされて、神様に大いに栄光を帰した。コンゴ民主共和国の政府関係者とキリスト教指導者の支援で行われたこの聖会は、コンゴ国営テレビRTNCを通して衛星、インターネットで全世界に生中継された。2006年、驚くべき神の力あるわざが現われ、70万人以上が参加したコンゴ・キリスト



教史上最大の聖会「イ・ジェロク牧師招へいコンゴ連合大聖会」の感動を忘れない国民へ、もう一度感動をプレゼントする聖会だった。

Table with 4 columns listing Japanese branches of Manmin Church. Columns include: 日本支教会の連絡先, イエス・キリスト飯田万民教会, イエス・キリスト別府万民教会, イエス・キリスト八千代万民教会, etc. Each entry lists the pastor, address, and contact information.

Announcement for the 4th Anniversary of the establishment of the Manmin Church in Maehwa. Includes a group photo of the church members and a list of church events for June.

Footer area containing logos for Manmin Central Church, Manmin TV, WCDN, and contact information for various branches.



堂会長イ・ジェロク牧師

1. 罪を捨てて、聖く完全になることが神のみこころ

神様を信じていると言いながらも、ある人は「十戒を守るうと努力はしなければならぬが、心から罪の性質が捨てられないので、完全に守ることはできない」と言います。たとえば、「姦淫してはならない」と言われれば、行ないとしては罪を犯さないかも知れないが、心の姦淫を脱ぎ捨てることはできないと言っているのです。

しかし、〈テサロニケ人への手紙第一4:3〉に「神のみこころは、あなたがたが聖くなることです。あなたがたが不品行を避け、」とあり、〈マタイの福音書5:48〉には「だから、あなたがたは、天の父が完全なように、完全でありなさい。」とあります。私たちが罪を捨てて聖く完全になることが神のみこころであり、これは神の力によってできるので、信仰をもって実現するようにと命じられているのです。

今日、一般の信者はもちろん牧会者さえも、ほとんどが心にある罪の性質が捨てられないのが見られます。行ないとしてはみことばどおり生きようと努力して、罪を犯さないようにもしますが、心まで聖くできないのです。これではやっと信仰の二段階であり、それ以上進展がないのです。ですから、全能の神を信じているというのに、聖書にある神のみわざが体験できません。

しかし、皆さんは行ないで犯す罪だけでなく、心の罪まで捨てるべきであり、罪を捨てるほど信仰が成長することを知っています。このようにみことばによって変えられるほど、人生に生きていて力ある神のことが働くので、驚くみわざを体験して、神様は栄光を帰すのです。

2. みことばどおり行なえる信仰の三段階

信仰の三段階は「みことばどおり行なえる信仰」と言いました。聖霊を受けて、からし種ほどの信仰が心に蒔かれれば、信仰の一段階として信仰生活が始まります。その種から芽が出て育つと、みことばどおり行なおうとする信仰が与えられ、努力していくと行なえる信仰に成長するのです。

「行なおうと努力する」信仰の二段階と、「行なえる」信仰の三段階には、途方もない違いがあります。二段階までは完全にみことばどおり行なえないので、時には世と教会に二股をかけたようにも見えます。しかし、三段階からは日常生活でも世の光と塩になります。ゆえなく悪口を言われて叱責されても、黙って耐えます。難しい問題の前でも、何としても喜んで感謝しようとするのです。誰もが自分の益を先に求める世で、何としても相手の益を求めようとして、すべての人に仕えようと努力しています。ですから、信仰の三段階の人は、世の人が見ても「あの人は神様を信じているから何かが違う」と言われるのです。

信仰の量り(9)

「私は、自分に与えられた恵みによって、あなたがたひとりひとりに言います。だれでも、思うべき限度を越えて思い上がりはいけません。いや、むしろ、神がおののけに分け与えてくださった信仰の量りに応じて、慎み深い考え方をしなさい。」(ローマ12:3)

探そうとする心に従います。このように信仰の三段階に入って、肉的なことを一つ一つ捨てていくほど、信仰の三段階の中盤を過ぎて四段階に近づきます。すると信仰生活がますますやさしく感じられます。また、罪を捨てるほど神様と共にいられていつも守ってくださるといことが、心から確かに悟られなければなりません。このようになるまでは自分の中で戦いがあります。ですから、信仰の二段階では、世でしてたとおり酒が飲みたくて、タバコが吸いたいのです。無理にやめようとするから苦しいのです。また、憤ろとするのに、しつと我慢していなければならぬから苦しいのです。そうするうちに我慢できなくて罪を犯してしまったりは、聖霊がらめきます。すると悩むようになります。

試練や患難にあらうと、喜んで感謝しなければならぬとは知っているけれど、まだ現実のほうが大きく迫って来るので、一つ一つ信仰で通り抜けるまではつらいのです。しかし、つらくてもみことばどおり生きなければならぬ、心まで聖くできないのです。これではやっと信仰の二段階であり、それ以上進展がないのです。ですから、全能の神を信じているというのに、聖書にある神のみわざが体験できません。

信仰の三段階では、みことばどおり行なうことが自然にからだにだにじんできます。もちろん、三段階でもまだ肉的なことを脱いでいく戦いがある、しかも血を流すまで戦って捨てなければならぬので、悩むこともあります。しかし、こういう戦いがあるとしても、肉の行ないと戦わなければならない信仰の二段階とは次元が違うのです。

信仰の三段階でも60パーセント以上みことばどおり行なうようになり、信仰の岩の上に立てば、心からも罪の性質がずいぶん捨てられたので、行なうことが特に難しくありません。悪を現すまいともだえながら我慢するのではなく、心から罪の性質そのものを捨てていくので、悪が現われなくなるのです。このように心に悟って行なえる信仰の三段階に入ると、しかも岩の信仰になると、信仰生活が難しいのでなく、むしろ一日一日が幸せです。

たとえば、ボクシングで互いの実力が同じくらいなら、戦い方とても激しいし、時には勝つこともあり、負けることもあります。これがまさに二段階の信仰です。つまり、敵である悪魔・サタンと激しく戦って勝つ時もあって、負ける時もあるのです。ところが、ひどりが術外れに強ければ、当然勝てるし、実力が上であるほど打たれることも少なくなるので、あまり疲れません。これがまさに信仰の三段階です。いくら自分をつらくさせる人がいても、愛することはできないものの嫌いませぬ。急いでお金を必要とさず、道で大金の入った財布を拾った時も、「自分が使おうか、持ち主を探そうかと」葛藤するのではなく、当然持ち主を

たくないので、わたしの口からあなたを吐き出そう。」とあるのです。もちろん、冷たいか、熱いかわってほしいと言われたからといって、本当に信仰生活を冷たくしなさい、ということではありません。全く冷たくて懲らしめても受け入れ、過ちを悟って悔い改めることもできるという意味です。

ですから、務めを受けた人ならば、当然、信仰の三段階には入っていきなればいけぬのです。岩壁を横断しているうちに、バランスを失って墜落しただけである。2年後にもまた墜落事故に遭った。スリルあふれるロッククライミングが、何となく怖くなり始めた。

ついに2005年の終わりには登山ともおさらばした。空いた時間は自然に教会生活が理めるようになった。いや、はっきり言えば、私のための妻の変わらない祈りと、男性宣教会の会員の愛と関心が実を結んだのだ。

2006年、金曜徹夜礼拝に初めて参加した私は、熱心に礼拝する聖徒の姿に驚いた。「こんな遅い時間に、こんなたたくさんの人が、何のために夜も寝ないで教会に来て、賛美して祈っているんだろうか？」今までは教会を行ったり来たりだけしていたが、これからは聖徒として生まれ変わりたいという思いが熱くなった。

私はみことばの武装のために堂会長イ・ジェロク牧師の著書を読み始めた。すると予想できなかったことが起きた。たとえば、説教を聞きながらも、私の考えと合わなければ「今のうちに罪に満ちた世代には戒めは守りにくい」と思っていた私が「神様を愛すれば、すべての戒めが楽しく守れるようだ」という考えに変わったのである。

家族の信仰も振り返ってみた。少し経てば成長して私た

家庭礼拝をささげて信仰で一つになった私たちの家族

妻(イ・ヒョンフィ勸士)が伝道しても長い間少しも動かなかった私は、1996年の冬、妻へのクリスマスプレゼントと思って、万民中央教会に登録した。その後、日曜日になると妻の顔色を見ながら、ある週は山へ、ある週は教会へと足を運んでいた。

2000年6月のある日曜日、登山中に事故に遭った。岩壁を横断しているうちに、バランスを失って墜落しただけである。2年後にもまた墜落事故に遭った。スリルあふれるロッククライミングが、何となく怖くなり始めた。

ついに2005年の終わりには登山ともおさらばした。空いた時間は自然に教会生活が理めるようになった。いや、はっきり言えば、私のための妻の変わらない祈りと、男性宣教会の会員の愛と関心が実を結んだのだ。

2006年、金曜徹夜礼拝に初めて参加した私は、熱心に礼拝する聖徒の姿に驚いた。「こんな遅い時間に、こんなたたくさんの人が、何のために夜も寝ないで教会に来て、賛美して祈っているんだろうか？」今までは教会を行ったり来たりだけしていたが、これからは聖徒として生まれ変わりたいという思いが熱くなった。

「聖書を読むほど、神様の心と愛が感じられます」

小学校4学年のキム・ジンヨン君は、寝る前と起きた後、バスと電車などで聖書を読む。子ども教会学校の指導教師が、聖書を読めば天国へ行くのに役に立つと言われたので、読み始めて1か月で新旧約聖書を通読した。

「聖書を読みながら、神様の心と愛を知ることになって、弟とけんかすることも減りました。アブラハムがおいの口に譲ったように、僕も弟に譲ります。勉強もやさしくなって、おもしろいです。一度は学校で数学のテストを見て、問題が解けなくて困っていたとき、ソロ



初めての金曜徹夜礼拝で生ぬるい信仰を悔い改め堂会長先生の著書を読んで信仰の力が臨む家庭礼拝をささげながら、信仰の帯で一つになった家庭

メッセージを伝え、妻と娘ヨンエと息子ウイソプが交代で代表祈禱、司会、特別賛美を担当した。初めはよそよそしくて、スムーズに行かなかった。子どもも名前も「ヨネウ、ウイソプ」と呼んでいたのが「兄弟、姉妹」になるときこちなかった。私は毎週、週報に載っている説教の要約を活用してメッセージを準備したが、その過程で信仰が成長するのを感じた。信仰について自由に質問して討論できるこの時間を通して、家族全員が信仰で共感していくようになった。「これまで献金を正しくしなかったことを悔い改めて、初月給の半分を神様にささげるよ」というウイソプの言葉を聞いて、家庭礼拝をささげて本当によかったと思う。

家庭礼拝はいつの間にか、家族全員が慕う時間になり、信仰も、互いの信頼と愛も、ますます高まったことを実感する。家庭礼拝をささげて、恵みあふれる家庭になるよう祝福された神様に、感謝と栄光をお帰しする。

- シン・ドンモン執事(2大14-2教区、3-3男性宣教会)



モン王を思い出しました。それで、『ソロモン王が知恵を求めたように、僕にも知恵を下さい』と祈ったら、答えが浮かびました。その日、100

点もらいました。」聖書を読んだ後、みことばどおり行おうと努力して、祈りも前とは違って具体的にできるようになったというジンヨン君は、これからも聖書を読んで、素直な神の子どもに変えられたいと告白する。

イ・ジェロク牧師の代表的著書

天国(上) 天国とはどんなところか？ 永遠に何をすればいいのか？

聖書の奥義を解き明かす書

信仰の量りに応じて入る天国五段階の場所を明快地説明 天国の暮らしを具体的に知ればこの地上でどう生きるべきかわかる

天国(下) 神の栄光が満ちている 聖なる都、新しいエルサレム

ヨハネの黙示録に記されている 最高の天国、新しいエルサレム 十二の真珠門と純金の道 天候に仕えられて永遠に生きる所 そこへ入るには？ 全き信仰に至る道を示す

地獄 神様から全人類への 切なる愛のメッセージ

ひとり地獄へ落ちてほしくない 愛の神様が解き明かされた 凄惨な下のみと地獄の刑罰 地獄の実情を知ってこそ 天国を激しく求めて行ける

信仰の量り 目標ある信仰生活の必読書

自分の信仰を正確に量り 全き信仰に至る方法を提示 信仰に応じた天国の場所と報酬 クリスチャンへのチャレンジ 信仰生活に目標を与えてくれる

私の人生、私の信仰1 イ・ジェロク牧師の自叙伝

7年間の病の末、生ける神に出会い 主イエスの恵みに頼りながら 十字架に万民中央教会を開拓 聖書のような訓練を通して 聖書の炎の燃える教会に導く 真の信仰人の道を省察させる

私の人生、私の信仰2 『私の人生、私の信仰1』の続編

イ・ジェロク牧師の伝える 永遠のいのちのことば 彼に現れる神の力あるわざ 十字架だけを仰ぎ見てきた彼の歩みは イエス・キリストの御足の跡と重なる

MIS教材 『十字架のことば』 人類の救いの摂理を 解き明かす信仰入門書

神様はどんな方か？ なぜイエス・キリストだけが救い主か？ 天地万物と人の創造 世界の始まる前から隠された奥義 十字架に込められた神の愛 全き救いに至るには？